

「第22回阿武川流域林業技術検討会」を開催

令和4年12月16日（金）、萩市むつみにおいて、萩地域林業振興会連絡協議会（会長：白神勉）主催による「第22回阿武川流域林業技術検討会」が萩市（旧むつみ村）で開催されました。本行事は、地域や地形等に適合した林業技術を検討・検証し、阿武川流域林業の一層の振興を図り、健全で活力のある森林を造成することを目的に毎年実施しています。今年度は、管内林業振興会、林業士会、萩市、萩農林水産事務所の林業関係者38名が参加しました。

まず、むつみ農村環境改善センターで萩地域林業振興会連絡協議会事務局からバッテリーチェーンソーについて説明があった後、UPR株式会社掛布氏からアシストスーツの説明と試着体験が行われました。

続いて、特定苗木について農林総合技術センター千葉専門研究員から説明があった後、むつみ林木育種園において現地研修を実施し、活発な意見交換が行われました。

萩地域林業振興会連絡協議会では、今後とも、森林組合等の林業事業体、地域の林業関係者、行政等と一体となって、阿武川流域林業の一層の振興を目指します。



「アシストスーツの試着体験」



むつみ林木育種園での現地研修